

## 平成30年度 連携・協力事業の実施状況について

教職大学院専門部会

## 【プロジェクト名】 実践的指導力向上事業

**1 プロジェクトの目的・概要**

教職大学院専門部会は、佐賀県教育委員会と佐賀大学大学院学校教育学研究科(以下、「佐賀大学教職大学院」)の連携・協働により、「学び続ける教師」の育成を目指すとともに、佐賀県における教職員の生涯学習システムを構築していくことを目的とする。

そこで本事業では、高度専門職業人養成として教員養成に特化した佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会がお互いの教育資源を有効活用しながら、佐賀県の教育課題解決に取り組む探究心の醸成や実践的指導力の向上に取り組む。

そのために、佐賀大学教職大学院から佐賀県教育委員会には「教員研修講座」を提供し、佐賀県教育委員会から佐賀大学教職大学院には「ゲストティーチャー」を派遣する。

**2 平成30年度の実施状況**

(1) 佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会の連携による実践的指導力向上を目指す「教員研修講座」を以下のように実施した。

鳥栖サテライトキャンパス「教員研修講座」

日程：平成30年8月8日(水)13:00～16:30

会場：鳥栖市立図書館2階「視聴覚室」(鳥栖市布津原町11-21)

内容：講義1「『チームとしての学校』に向けて教職員が行うこと」

(佐賀大学教職大学院教授 中島秀明)

講義2「子どもの学ぶ意欲の心理学」

(佐賀大学教職大学院講師 井邑智哉)

参加：15名

本庄キャンパス「教員研修講座」

日程：平成30年8月24日(土)9:00～16:30

会場：佐賀大学 ICT クラスルーム

内容：講義「ICTで魅せる数学の授業づくり」

(佐賀大学教職大学院准教授 米田重和)

参加：6名

唐津サテライトキャンパス「教員研修講座」(資料3)

日程：平成30年8月28日(火)13:00～17:00

会場：相知交流文化センター研修室

(唐津市相知町中山3600番地8)

内容：講義1「算数・数学の学習指導力UP」

(佐賀大学教職大学院准教授 米田重和)

## 講義 2 「教育の最新事情」

(佐賀大学教職大学院教授 上野景三)

参加：15名

### 武雄サテライトキャンパス「教員研修講座」

日程：平成30年12月26日(水) 13:00～16:30

会場：武雄市文化会館「大集合室B」(武雄市武雄町武雄5538 1)

内容：実践研究1(小学校)『平和について考えよう』

(武雄市立山内西小学校教諭 古川万理)

実践研究2(中学校)

『タブレットPCと学習支援ソフトを利用した放課後等での学習の取り組み』

(武雄市立川登中学校指導教諭 中島博之)

講義『ICT教育は「21世紀型スキル」等をどこまで育成できるのか?』

(佐賀大学教職大学院教授 佐長健司)

参加：91名

(2) 佐賀大学教職大学院授業科目へ佐賀県教育委員会の指導主事やスーパーティーチャー等を「ゲストティーチャー」として以下のように派遣した。

後期月曜日4校時：共通必修科目「教科等におけるICT利活用の基礎と課題」

・第3回授業(平成30年10月22日)

授業テーマ：「学校教育における教育の情報化」

授業担当者：佐賀県教育庁学校教育課教育情報化支援室 栗本洋二係長

・第4回授業(平成30年10月29日)

授業テーマ：「ICT利活用教育の推進に関する佐賀県教育委員会の取り組み」

授業担当者：佐賀県教育庁学校教育課教育情報化支援室 栗本洋二係長

### (成果)

教員研修講座においては、今年度も継続して本庄キャンパスでの開催だけではなく、サテライトキャンパスのある唐津・武雄・鳥栖の各市教育委員会と連携・協働して、3つの地区すべてにおいても開催できたことは大きな成果といえる。

参加者の感想には、「新学習要領の背景にある教育を取り巻く状況について知ることができた」、「数学の実践的な授業づくりの案について、今後活用していきたいと思う」など、研修の中で最新の知見や具体的な教育実践例に触れたことで、今後の実践へのヒントになったという声が多かった。

ゲストティーチャーにおいては、ICT利活用教育の背景や意義、加えて、佐賀県が取り組んでいる現状とその理念などについて、教育実践の最前線にいる講師から学ぶことを通して、深い学修となっていた。

以上のことから本事業の成果として、佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会がお互いの教育資源を有効活用しながら、共に「学び続ける教員」を育むことができているといえる。

### (課題)

今年度は、昨年度の課題であった開催時期や内容等について大学院と教育委員会で十分に検討を行い、現場のニーズに沿った研修となるように努めた。その結果、武雄キャンパスにおいては、90名を超える参加となった。一方で、参加者が定員に満たない研修があったことは今後の課題として考えていく必要がある。次年度は、開催時期や内容等の検討に加え、演習を多く取り入れた参加者型の研修にするなどの研修形態の工夫や、多くの教員に関心を持ってもらえるチラシを作るなど広報の工夫を行っていく。

今後も、実践的指導力向上事業として、教員研修講座の意義を高めるために、継続してサテライトキャンパスのある各市教育委員会との連携・協力体制を強化し、教育活動および修学活動のさらなる充実を図っていきたい。

### **3 今後の予定等**

- ・佐賀大学教職大学院で、今年度の教員研修講座の成果と課題を踏まえ、来年度の実施計画案を作成する。
- ・次年度に向けて、来年度の実施計画案をもとに佐賀県教育委員会及び唐津市教育委員会、武雄市教育委員会、鳥栖市教育委員会の関係者との打ち合わせを行う。